



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

一つの原子爆弾によって熱系泉という色々なものをいっしょにして溶かすものや、衝撃という音よりも早く色々なものをぶき飛ばすもの、放射系泉という後々にも原爆病を引き起こさせるものの3つによって多大なる被害を出すことを知りました。皮膚がはがれ落ちたり、手を重くかすことなどで体がすれておこるたえりにたえきれない程の傷みについて原爆先生の迫力ある授業を受講することで已々めて知らされました。そして、戦争の悲惨さや見苦しさを心にしっかりと刻み、今後戦争の惨禍が起きてはならないと身にしみじみ思いました。この原子爆弾を機に世界中の人々が戦争の悲惨さを感じ、戦争のない平和な世をつくり、一人一人の心に平和のとりでが築けるように原爆先生。

原爆先生、特別授業をなさって拜きどうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17

原爆の恐しさ、こわさが原爆先生の語りによって  
伝わりました。午前8時15分に広島に原爆が投下され  
た。生々しさがよくわかり、原爆の強さ、被害など  
がわかりました。原爆によって、広島のがたがたが「いっぺん  
し、すごい熱風をはなつ」ということがわかり、とてもいい  
体験をすることができました。

アメリカが広島、長崎以外にも候補になった都市が  
あるということ。小倉や横浜、新潟が候補になったということ  
におどろきました。リトルボーイという原爆は、  
すごい熱線、しょうけき波、放射線をもっているとい  
うことがわかり、しかも、温度が中心は100万℃  
表面温度が7000℃、太陽と同じレベルだということも  
しょうけき的でした。

広島市人口で被爆者が24万人、死者数が14万人  
被爆率は70%、死亡率が40%、5人に2人は死んでしまう  
ことにおどろきました。原爆先生の話を聞き、戦争の  
ひさんさや、きょうふについて知ることができ、とても  
ためになった特別授業になりました。ありがとう  
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

10/17

私は、原爆資料館へ行った事があります。(けれど)  
原爆先生の口から聞いた事は、とても追力があり、  
目の前で起きているかのようにでした。

太陽の温度より高い温度を頭上から浴び、  
一しゅんのうちになくなってしまった人は、とてもさんこくな  
事だと思いました。また、やけどをして皮ふがむけ、肉  
がみえとても苦しい思いをした人にお祈りをしたいと  
思いました。この悲しい事は心にきざんで、いつか原爆ド  
ームや原爆資料館へ行く事になったら、この事を  
思い出して見てみたいと思います。

二度とこんなさんこくな事にならないようにしたいと強く  
思いました。原爆先生のお話が聞けてとても嬉しか、た  
です。このことを後の世代につなげられたらいいなと  
改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、戦争について、最初は、その大変さ、苦しさをあまりよく分からなかったが、原爆先生のお話を聞いていたら、人々は、焼けていたり亡くなっている方も、多いということが改めて分かった。「いつ何が起こるといふことも分からずただ待つ」ということでさえ、苦しいと思うが、原爆を落としたり、どんな苦しみ、痛み、悲しさがあるか、ということも、実感できた。原爆ドームには「戦争」という事を未来にも伝えていくようなものであると私は思った。

池田義三さんが感じた戦争を動画で語っていたが、泣かれている様子を見て、今思い出してもそんなにひどい出来事だ、ということが分かった。何人もが亡くなったこの戦争を、これから、少しでも思い出して、自分も生きていこうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

原爆を経験した人が感じた戦争の残  
こくさ、平和の大切さをこの特別授業で  
よく分かりました。自分たちより後の世代に  
前の世代の人たちが渡してくれた平和のバトン  
を次の世代に渡せるようにしたいです。  
また、自分たちが生きているときに日本が他の国  
と戦争をしようとしていたら太平洋戦争の  
過ちを繰り返すことはしないように全力で  
戦争を止めさせようと思います。

そして日本が永遠に戦争をしないことを願います。  
世界全体が永遠に戦争をしないことを願います。  
過ちを二度と繰り返さないように広島と長崎に  
行って原爆の残さを知りたいと思います。  
ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

10/17

前に、長崎の原爆ドームに行った  
ことがあって、「やっぱり戦争はよくな  
いし、にくしみを生むだけだ」と思っ  
ていました。

今回、原爆先生のお話を聞いて、原  
子爆弾のおそろしさや、被爆者の心と  
体の両方のいたさ、いそくのか々の悲しみ  
などをあらためて実感できました。

最後の動画の時、お父様が、お話を  
されている最中、なみだを流していることで、本当  
に、つらくて、大変だったことが伝わりました。

自分の目の前で、人の死をまのあたりにし、その  
死体を運ぶ。こんなにもつらい仕事はな  
いと思いますけれど、その仕事をやる人がいる  
から、あとの世代へ思いを伝えることができるのだ  
と思いました。

今回は、おいそかしいな学校に足を運んで下  
さりありがとうございました。そして、また、さかいがあたら  
し、ゆくりお話を聞いてみたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

とてもはく力があつて、自分がそこにいるような気がした。原爆の苦しさ、つらさ、言葉だけじゃあんまり伝わらない物がぐさりと胸にささった。原子爆弾の体験談だけでは無く、威力まで教えてもらつてさらに原爆の恐ろしさが増した。

得に原爆の投下シーンの再現はすごかつた。風の音や、静まる所、そして急に來る爆発音。リアルでものすごく迫力があつた。

また先生の話し方も現場を想像できる物で近付いてきたり、動作をしたり、目をつぶったりと「さすが原爆先生だな。」と思う所がいっぱいあつた。

原爆について教えてくれた原爆先生、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17(木)

今回話してくれたタイトルは「7000℃の7年」  
 でした。第二次世界大戦は21才になってから  
 他田義三さんは戦かたそうです。ちなみに爆心  
 地に人類初として入りました。飛行機には約  
 4七のものをうんだとされています。また、原子  
 爆弾投下都市の条件はアメリカが考えました。  
 ①直径5kmを超える。②平野であること。③空襲が  
 なかった。以上が条件です。そして候補となった都市は  
 広島・小倉・長崎・横浜・新潟・京都です。京都は盆地  
 地形ではかいた効果がまちがえなく出ます。だが、  
 1千200年をこえる文化があるためやめてしまいました。  
 広島市に投下された原爆は「リトルボーイ」といい、約4七  
 しました。その原爆では、死者数14万人・死亡率40%  
 でした。原爆ドームはレンガと鉄骨の部分だけが残  
 りました。私は今日その公演を聞き、思っている  
 以上に死者や被爆してしまった人がいると感じました。  
 やけどをしてしまった人は皮ふがはがれてしまう画像を  
 見て、すごいショックを受けました。今日は本当に  
 ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17

爆弾が投下する時の効果音がすごくはく力があり、その時の深刻さが伝わりました。

実際には原爆投下の体験をした人はもともとどれぐらいの暑さが衝撃だったのかは分からないかと思いました。

また、池田義三さんが17歳で若く兵隊になったという事に驚きが隠せませんでした。昭和20年に解散しており、トラックを待っている時に爆弾が落とされました。近くにはドラム缶があったので丸死一生だったようなので奇跡だなと感じました。投下の候補になり1番強い都市は京都で、山に囲まれていた市だったので1番になりました。私はその話を聞いて「京都には古い都で重要な建物があつのに」と心の中で思いました。すると私の思った通りで、最終的に除外されたそうです。私はこのことを知って、京都に原子爆弾が投下されなくてよかったなと原爆先生のお話を聞いて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17

以前、私は広島の実爆ドームに行きました。その時は、3才ほどで、原爆ドームがまったくどのようなものか知りませんでした。また、それ以来原爆ドームの事を勉強する機会がほとんどなかったため、今回のお話を聞いて、本当にうれしく思いました。原爆先生のお父様は、17歳と言う若さで軍隊に入られ、皮ふがただれてしまっている人や、顔面をやけどしてしまっている人など、様々な人を見てきたらしいです。私は、原爆先生のお父様が、とてもすごい方だなあと思いました。もし私が軍隊に入れば、皮ふがただれている人や、顔面をやけどしている人や、お亡くなりになった方を見ることは、できないと思います。また、原爆先生のお父様が助けた17歳ほどの少女と11歳男の子のお話を聞いた時は、少し心にささったような感覚がしました。また、原爆先生が最初に言っていた、「7000℃の少年」の意味が良くわかりました。今回の特別授業を聞いたことにより、原爆ドームが悲さんであるが、とてもすごい建物だとわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

17/10

テレビや新聞、塾の教本斗書で「広島長崎に原子爆弾が落されたのは知っていたけれど、くわい内容までは知らなかった」ので原爆先生のお父さんが兵隊にいたころの話にもとづいて自分が思っていたよりももっとくわい教してもらい、広島に原子爆弾が落ちて数日間の出来事を映像は多少ありましたが「ほんと言葉だけで」はなして頂きそれだけでも自分の頭の中にその当時の広島が浮かべられました。そして、当時の人たちの恐怖や不安、広島状況などがわかり、原爆を受けた被爆者たちの証言など「階段に座っていてその人のおかげ」が「階段にしみつくこと」があることを教えてくださりありがたうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17

原爆先生のお話を聞いて、改めて、  
原子爆弾のおそろしさ、そしてお父さまの  
奥体験のお話によって、とてもリアルに  
知ることができました。太陽の温度より  
も熱い原子爆弾によって、人々がとても  
苦しみ、人間とは思えない容貌になってし  
まうことなど知っていたけれど、今日、原爆  
先生のお話を聞き、自分が想像してい  
たものよりも、はるかにおそろしいものだ  
ということがわかりました。聞いていて、何度  
もゾクゾクしました。また、広島と長崎の  
他に、小倉や横浜、新潟や京都が原爆  
投下の候補があったと知って、おどろき  
ました。今日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/17

私は8月6日に広島へ行きました。  
広島平和公園に行き、原爆の恐しさを  
改めて知りました。ですが今日、原爆先生  
のお話しを聞き、原爆ドームや資料館  
などでは伝わらない状況や原爆の威力  
をお話を通じて体験させて頂きました。  
先生の音や気持ちを表す言葉は原爆が  
落とされた朝の兵隊さんたちの不安や  
恐怖そして悲しみがとてもよく伝わり、  
私の心の中にも一生残ると思います。  
今日話していただいたり、原爆など使っ  
てはならない、そして被爆者が少なくなっ  
ているこの現代から後世に被爆者のた  
体験を伝えていき平和な世の中を  
私たち一人一人の人間が作るという事を  
忘れずに毎日過ごしていきたいと思います。  
お話しを聞いて平和の大切さ、そ  
れがありがたさを知りました。  
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17 (木)

今回は、原爆先生の特別授業をいに来して下さい、ありがとうございます。

義三さんがトラックの荷台にいて、被爆者の方々を助けようと、手をさしのべたのに、被爆者の方の皮ふがはがれて、転げおちしまったとの話を聞き、被爆者の方々がとても痛い思いをしたんだ、と思いました。

そして、最後の方のお話に出てきた、小さな男の子が軍服を引っかけて兵隊を呼び、女性(お姉さん)の命を助けたという話を聞いて、私はもしものことがあったら妹を助けてあげようと思いました。最後に、池田さん今回は貴重なお話ありがとうございます。

池田さんのお話が聞けてよかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

今まで新聞やテレビで原爆の事を少し知っていました。今日の原爆先生のお話で、原爆の威力、熱さ、大きさ、高さ600mで爆発したということを知りました。

原爆は太陽より熱い1000℃という事におどろき、想像するだけで、恐怖におそれました。原爆は多くの人々の命を奪い苦しめる恐ろしい刻兵器だと思いました。

皮膚がたたみ、救助をしようとうでを引張り上げるとズルズルと皮膚がはがれ、肉が出ると聞いたたら、とても怖くなりました。

現在、日本では戦争が起きていませんが、まだ、外国では紛争が起きている

国があります。もう、昭和20年、8月6日に起こった出来事が起こらないでほしいです。みんなが平和に過ごせるような世界になってほしいです。

今回、お話を聞いて本当に良かったです。ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17(木)

今日の原爆先生の初めに話して頂いた義三さんの当時の事で衝撃を受けました。急に空からものすごい光が降ってきて、わけの分からないまま爆風に飛ばされることを考えてみると、私だったらパニックになって軍を捨てて逃げると思います。それなのに、しっかりと自分の使命を果たした義三さんは本当にすごいと思います。

他にも、原爆の中心の温度が100万℃という太陽よりもとてつもなく熱いことを初めて知り、外側が7000℃の大きな原爆が落ちてきて、周りが3000℃になったらなんて怖くてたまりません。

被爆率70%、死亡率40%というおぞましい数字で、35万人のうち24万が被爆、そして14万人の方が亡くなっているという事実を忘れるのではなく、しっかりと後の世代に伝えていかなければならないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17

今まで私は原爆というものについてあまり深く考えたこともなく、ただすごくこわくてもう絶対に使ってはいけない核兵器なんだということしか知りませんでした。ですが池田さんの貴重なお父様の実体験を聞き、私が知らなかった原子爆弾の爆発の仕方や原爆の威力などを知ることができました。一番びっくりしたことは原爆が爆発した時の温度が太陽より熱いということです。爆心地いた人はさぞ不安だったんだろうと思います。また、もし私の住んでいる東京の近くの横浜に原爆が落とされていたらどうなっていたのかということを考えてもものすごくこわくなります。最後に、池田さんがお父様の映像を見せて下さった時は、私も少し泣きそうでした。今、私達が生きている時代が平和で戦争のない時代であることに感謝したいと思います。私もいつか戦争をもっと知りたくな島の資料館や原爆ドームに行ってみたいです。また、池田さんのおかげで原子爆弾について知ることができました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

2019年10月17日 木曜日に、私は原爆先生の  
父親、池田義三さんを主人公とした、  
「7000℃の少年」のお話を聞きました。  
義三さんは、昭和20年(1945年)8月6日の  
早朝、自分の班の部下8名とともに、広島で  
軍の食料や衣服を運ぶトラックを待って  
いました。そして、午前8時15分、広島に  
原子爆弾が投下されました。  
義三さんは奇跡的に無傷でしたが、  
班の数名は軽傷を負いました。  
ですが、この原爆で、14万人もの人が死に  
ました。  
また、「もし東京の方に原爆が落ちていたら...」  
と思うと、今こうして生きていられていること  
に感謝です。  
いそがしい中、お話をして下さい  
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

19/17

原爆先生のお話を聞き、原子爆弾が人々を苦しめ、傷つけていることを改めて感じました。

人々をまきこみ、一瞬のうちにあとかたもなく消去ってしまう。こんな原子爆弾はあってもならないし、必要ない。ただ人々を苦しめるだけの道具であると思います。

広島市では人口の約40%の人々が亡くなり、約70%が被爆してしまいました。

真上から熱線と爆風を受けた「原爆ドーム」。中にいた人々は亡くなり、建物も鉄骨だけになってしまいました。

私はこの「原爆ドーム」を見、原爆先生のお話を聞き、戦争はしてはならない、と強く思いました。そして今生きているだけで幸せだと思います。

貴重なお話、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

今まで新聞やテレビ、広島の実験ドームなどで原爆について見てきました。調べていくうちにすごくおもしろい事だという事ですし、原爆についてからずっと目をそむけてきた。しかし、今回原爆先生がいらっしゃる後は、あまり原爆について目をそむけないうていきたいと思っていました。その願い通り、これからは「原爆」など、むしろ怖いものからも目をそむけないうていきたいと思った。なぜなら、原爆先生のお話を聞いて、ときには、むしろこわいときには、やさしくおしえてくださり、とても頭にはいらてきて、すごくよかったです。また、お父さんの気持ちを手紙では無いのに、とてもすごいと感じながらきていました。今度広島に行く機会があったら原爆先生がおっしゃっていた事を考えて見てみたいですね。今回は、どうもありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/17

今日、約90分間の授業を受け、思ったことはおそろしい  
の一言につきます。北朝鮮が核兵器の開発をしていますが、核兵器は原爆の約1000倍の威力と言われています。もし  
そのようなものが投下されてしまったら、私達など一たまり  
りもありません。しかし世界では未だに戦争をうけている  
国があります。私達が生きている以上、争い事はさ  
げようのない事なのかなと思います。ケンカをすることはよく  
ありますが、これが国同士のケンカとなるとそれはも  
う「ケンカ」とは呼ばず、武力を使えば「戦争」と化して  
行くのでしょ。日本は世界でたった一つの被爆国ですが、  
8月6日にテレビをつけても原爆の特集はしてません。原爆を  
「無かった事」にしたためにテレビがあるはずなのに、むしろ  
風化させていくことになってしまいます。たまたま私達の学校で  
はこのようないイベントがありました。全ての学校において  
あるとは限りません。この風化を止めるため、または原爆  
の存在を忘れないようにするためには、どのようなことがあ  
るのでしょうか。私達はまだ小学生であり、このようない  
イベントを企画するには無理があります。しかし今日習った事を家族  
や友達に伝える事は出来ます。そして私達が伝えたか  
らまた他の人も、そしてまた別の人も次々平和の輪が広が  
って行くのならこれ以上幸いな事はありません。今、自分達に  
できることはそれくらいです。それをしていくしかないと  
思います。今日この後家に帰ったらみんなに話したいで  
す。大人になったら平和になるような仕事やボランティアを  
したいと思います。今日は本当にありがとうございました。  
これからもがんばって下さい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

池田義三さんの被爆体験を通して、原爆によるじん大な被害が身にひみて感じました。皆実野での被爆者の体の様子や、元安川にあつた大量の遺体などの痛々しい様子も見ながらでも救助にあつた義三さんの勇気が感じられました。また、原子爆弾による被害。熱線や衝撃波による都市に与える被害の大きさが伝わりました。これから自分も、原子爆弾は、与えられた被害について心の中で考えながら 過ごして行きたいと思います。原爆についてお話ししてくださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/17

テレビや新聞で原爆のことについて報道しているのを見て  
いる時は、そんなことがあつたんだなとしか思つていません  
でした。でも、原爆先生の特別授業を受講して、

改めて原爆が、多くの人の命をうばつたこと、原爆  
がどれほどひどいおそろしいのかを知りました。

ひばくした人達の皮ふがはがれ落ちていたと聞いた  
時、想像しただけでもこわくて、おそろしかったです。

でも、経験した人は私よりも、もっとも、と苦しく、こわか  
たと思います。もし私が原爆先生のお父様と同じ立場だつた  
らと思うだけで、ゾッとします。

私は、この授業を受けて原爆のおそろしさだけではなく、  
自分が今、いる立場がどれほど幸せかということも  
知りました。

また、これからこのようなことがあつたということをわすれず、  
二度と戦争をおこさない世界を作つていけたらいいなと  
思います。

本当に今日はいろいろなことを考えさせられました。

おそろしいところ、特別授業に来てくださり、本当に  
ありがとうございました。

さし

非敵



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生の授業を受けて、原爆の威力・悲惨さはもちろん、平和の大切さなども知りました。原爆先生のお父さんの実体験をもとに、今回お話を聞きましたが、一番しゅげき的だったのは、原爆の威力です。原爆の効果は熱線・衝撃波・放射線と三つの効果を持っていて、どれも恐ろしいです。まずは、どれ程の熱線を放つのかというと、原爆が爆発すると直径200mで、中心は100FとFの外側は7000℃ 落下すると、3000℃という考えられない程の熱さです。

鉄が溶ける温度が1500℃、太陽は6000℃です。次に衝撃波は、毎秒440mです。ちなみに音速は340m/sなので、衝撃波で人は飛ばされてしまいます。このような絶大な威力を持っていた原爆は、広島市に住んでいた35万人のうち、被爆者は24万人、死者は14万人出ていて、死亡率は40%を記録している。

そんな原爆が1945年8月6日午前8時15分に投下された。その威力は絶対的で、悲惨そのものだ。いつか戦争する国が無くなしてほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

10/17(木)

私は、五年生のころにハダシのTシャツを履きながら  
戦争のことは少ししていましたが先生の(原爆先生)  
お話を聞き本当の苦しさや悲さんさを知りまし  
た。また原爆先生のお父さまのお話のヒート  
でもとても苦しさがあったので、皮がたた  
れてしまったり、ガラスが体にささってしまったり。  
戦争は人にとっても大きな被害やえい境をあた  
えることがわかりとてもおそろしさまかしました  
た。そして先生のしゃべり方もまるで本当に目の  
前にそのことがおきているようにお話されて  
いてとてもつたわってました。また原爆その物  
が熱線を出し、衝撃波をあたえることにびっくり  
しました。今回は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

源火暴はそんなにあまくは無く大切な命が一瞬にして消えさり物はもえ大切に大事にしていた物や人が無くなる悲さなにもしていたい戦争とは無関係の人が殺されるのはあまりにもかわいそうでした、自分がもしこの時代に生きていたらどうしてたらうなどの相想をしながらかんがえてもさうでした戦争は前までは自分は関係ないと思っていましたが源火暴先生の授業により戦争は悲さで、今々もこのようにならないようにしていき源火暴先生のお話のおかげで気づけました。もと深く知りたいてんきちょうなお話、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日はおいそがしい中、素敵なお話をしてくださって、有難うございました。

私は、九日間かけて、死体の処理をした。池田義三さんの勇気に心を打たれました。

また、太陽の表面温度の六千度よりも熱い、表面温度七千度という原子爆弾の温度にも、とてもおどろきました。

この熱が十四万人の命をうばい去り、二十四万人の人々をきづつけたと思うと、体が震えます。

私なら、きっと池田さんのような正確な判断ができませんと思います。

私たちががんばっても、できないようなことをやってのける池田さんは、本当にすごいと思います。

このできごとも、おそろしいととらえるだけでなく、次の世代にも伝えていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

私は、今日の特別授業を受け、とても大きなショックを受けました。今まで平和にすごしてきた8月6日、広島には忘れてはいけない、本当に残酷な歴史があり、あらためておこりました。

上空から落とされたリトルボーンは熱線・衝撃波・放射線で広島をおそい、多くの人の命をうばいました。「助けて」という叫び声、真赤な人の体、想像しただけでゾクゾクしました。でも、本当に体験された人は私の想像の何十倍も苦しく辛い思いをされたのだと思います。量の死体、一人のうちにあとかたもなく消えてしまった人が一人ひとり息を、私たちと同じように家族がいたことを考えると、本当に悲しいです。

原子爆弾の恐ろしさは、私たちが語り手となり伝えていかなければいけないと思います。今日の授業は、戦争について知ることができ、また、実際に義三さんの声も聞くことができました。

戦争について深く考え、二度と起こしてはならないこととして、私たちが大人になった時も平和な世界をつくれるよう、毎年8月6日は今日の授業を思い出したいと思います。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19(木)

今日は、特別授業をしに来て下さり、ありがとうございます。  
た。原爆先生が、大切なお話をして下さいだったので、  
とても心に残りました。授業の最初の方では、原爆先生  
が、爆弾が落ちる音を口で表現して下さいの時、とてもひっ  
くりしました。しかし、定際は、もっともっと大きい音や、あつた  
らうと思うと、戦争のおそろしさという物を改めて感じる  
ことが、できました。それと同時に、このような話を聞いた私  
達子供が、大人になった時、そして一生、戦争をしてはいけない  
ということも、改めて、感じられました。そして、私が一番心  
に残ったのは、一番最後に見たビデオです。義三さんは、  
なみだを流しながら、お話をされているのを見た時、戦争  
は、一瞬にして、人々の心にぐさりと何かをさしたのだと思  
いました。なので私は、もう一生、戦争が起きないことを、  
心から願っています。

今日は、長い時間、お話をして下さい本当に  
ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

10/17

私は改めて戦争の悲しさを知りました。  
私は何度か戦争に関する本や番組などを見てき  
ましたがやはり戦争は二度とくり返してはな  
らないと思いました。この戦争のせいで色々な人が  
亡くなったことや、ひばくして今もまた苦しんでいる人  
がいるとききむねがいたくなりました。先生のお父  
様が経験された話を聞くとしてもつらい経験だっ  
たことや助けがほしいのに助けられない気持ち  
がとても伝わってきて、とても苦しい気持ちに  
なりました。また、原はく<sup>の</sup>せいで一しゅん  
で消え去ってしまった人やひばくしてせ  
くなくなってしまった人などの話を聞くこ  
とも悲さんでした。このような悲さん  
なきとを二度とくり返してはいけ  
ないと思いい、私達が後世に伝えていけれ  
ばいいなと思いました。  
今日は特別授業をしてくださり、  
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

10/17

今回、原爆の話も聞いて、改めて原爆の強怖を知る  
こととなりました。私も原爆については、なんとなく知っていま  
したが、やはり体験者でないとならない。当時の細々  
とした状況などが聞けたのがよかったです。また、  
今回の話で、「自分はまだまだ原爆について、知らない  
ことがたくさんある」ということに気づきました。考えて  
みれば、まだ原爆資料館などにも行ったことがないし、  
あたりまえなのですか、話を聞いてそのことを深く思い知  
りました。なので、今後もし機会があれば、原爆につ  
いて、もっと知りたいです。最後に、今は、戦争もなくなり、  
平和な日々が続いています。なので私には、当時の体験を  
完全に理解することはできません。でも、今の平和を持続し  
て、そういうことが二度とおこらないようにする事はできます。  
そのためにも、みんなが平和な心を持つのが大切だ  
と思います。

特別授業、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

私は「ハダシのゲン」を何度も読んだことがあります。  
目をそむけたくなるようなことでも、原爆や戦争のおそろしい事実  
と、二度とくりかえさないようにするために知っておく必要  
があると思うからです。しかし今日の特別授業を受講しか  
なりの衝撃を受けました。それは写真を見なくても、原爆先生  
の話しぶりやうかんできた光景が、想像を絶するもので  
あったのと被爆をしていない私達にはとても想像し  
ないようなおそろしい景色がそこにはあったと、とても痛感  
したからです。そう感じたとき、かけは私の一番印象に残った「キレ  
する」という言葉でした。私は一度は絶対に原爆ドーム  
に行ってみたいとずっと思っていました。でも、その一言  
で被爆した方々の見たおそろしい世界は、原爆ドームで  
さえ表しきれないという事がわかりました。最後に見せてい  
たビデオの中の義三さんのなみだには、思い出す  
だけでつらい出来事を伝えきれないくやしさを、もう二度と原  
爆を使ってはならない、平和に生きてほしいという強いメ  
ッセージがこめられていると思います。これを受けて、私の原爆  
ドームに行きたいという思いはより一層強くなり、この気持ちを  
忘れるはいけなしい思いました。今日は本当に、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

# 原爆先生の特別授業をうけて

私は最初広島原爆のことにあまり興味を持っていませんでした。きっと知ろうとしても難かしくよくわからなくわすれてしまうと思いい人でいたけれど、行方はありませんでした。話をきいていると、いろいろなことが気になり、興味を持ちはじめ、はやく次のことが知りたいと思いました。

原爆のリトルボーイは、日本語でちいさな子、または少年という意味なのに47もあると聞くと、びっくりしました。

9632mの高さから重力で落下するときにとっても速く落ちて、とてもあぶないのは知らなくても、聞いていただけでこわくなりました。今回聞いたお話のしかたがとてわかりやすく、感情がこもっていることが心から伝わりました。

原爆の中心温度が100万℃とこの温度がそうなるの？いままで聞いたことの無い温度で高すぎる！とおどろきました。鉄がなて一瞬でとけてしまう！なて、そうそうできまかんでした。

はくしちにかげができなことがとて不思議に思いました。

あらためて、特別授業をうけて、興味を持って、色々なことがわかりました。来てとても良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

火暴弾は広島や長崎に投下され、たくさんの被害者が  
いました。ぼくは、今回の原火暴先生の言話を聞いて、  
思いました、火暴弾はとても危険な物で、あつて  
はならない物だと思いました。あと原火暴先生の  
言話であつたことは、広島や長崎以外にも、京都  
にも投下する予定であつたことがわかつてびっくりしま  
した。そして被火暴した人たつて24万人もいることがわ  
かつてびっくりしました。そのような被火暴した人たちは  
全身が焼けて皮がむけただれといるというこゝを  
聞いたときとても怖い気持ちになりました。  
もう1つわかつたことは、衝撃波の速さが毎秒440m  
もあることがわかつてびっくりしました。さらに、火暴  
発したときに温度が7000℃あることがわかつて  
びっくりしました。ぼくは、原火暴先生の言話を聞  
いて火暴弾はとても怖い物だとわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

原子爆弾が爆発したすぐ後に義三さんが  
出会った火傷を負ったたくさんの方が「兵隊さん  
助けて。」と言った時に私もきょと手を差し伸べ  
ていたと思いました。ですが、手がかんでもひふ  
がはがれてしまい、助けられない悔しさや悲しさが  
込み上げて来ました。広島や京都に原子爆  
弾が落とされたとき、私は怒りと悲しさの気持  
ちでいっぱいでした。広島市に原子爆弾が投下さ  
れた事により、14万人の人がなくなってしまった事に涙を  
おさえるのに必死でした。その時、一瞬でなくなっ  
た方や、苦しみながらなくなった方はきょと天国から大切な  
人を見守っていると思います。日本に原子爆弾を投下する  
時にどんな気持ちだったのか。しかも、瀬戸内海でさっえい  
した事が許せなかつたです。そして、放射線をあび今も  
被爆などで苦しんでいる人がいます。ですが、まだちゃんと治  
りよう法が見つかりません。なので、一刻も早く治りよう法が見つ  
かると、苦しんでいる人が助かってほしいです。そして、原子爆弾を投下する  
のを絶対に辞めてほしいです。原爆先生、貴重なお話ありが  
とうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

沢山の情報をネットで簡単に入手できる中で、貴重なお話を聞くことができ、親子ともども、やはり生で身にする声から胸に伝わりお話は忘れることのできる貴重な体験でした。

お礼のご挨拶をいたしました。

時間を忘れる程に、まだまだお話を伺いたいくらいです。子供たちの真言だった原爆ドーム

はただただ怖いばかりの思い出でした。

福島原発事故の際、子供たちに原発の危険性事故の恐ろしさを説明するため、戦争と原爆の話もいたしました。実は体験もたくさん知識の少ない母の話は響かばかりのため、戦争体験者がある子供たちの祖父母に話をしてもらいました。

戦争体験者の話は一度は子供たちには聞かなくてはならないと感じました。

原爆先生の、目を追った広島の様子のお話は(人々の様子は)映像の様に浮かびあがり胸に染み渡りました。原爆ドームへ行く前に息子小三にも聞かせてあげたいと思います。

2019.10.17



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、原爆の恐ろしさ、戦争をしても何の意味も無いことわかりました。また原爆先生のお話の中で「最ネカに出てきた7000℃の少年は、広島に投下された原爆「リトルボーイ」(小枝子、少年)のことをしめして、太陽の表面温度より高いので「広島にいた人たちはやけどをし、人間とは思えないようなすかたになることは僕には想像できませんか、義三さん」広島にいた人たちはその時は何かあったのかわからなかったと思います。原爆先生と義三さんが広島に行った時義三さんがきれいなすきるといった理由はわからなかったか、授業を教えてくださいありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2019/10/17

原子爆弾がすまじい破壊力とおぞましい衝撃波をもたらすとは、『はだしのゲン』を読んでいたのである程度は分かっていたが、衝撃的すぎて今一つ実感がわいていませんでした。

しかし、特別授業では、実際の写真や池田義三さんの映像、そして、太陽などの身近なものとは比べたり、分かりやすく解説したりと、臨場感を抱けるような原爆先生の工夫によって、原子爆弾の真の威力が分かったので、原爆先生の授業を受けることができ、本当に良かったと思っています。

原爆先生の話の中で、特に心に残ったのは、帰っている途中に御幸橋で少年に声をかけられ、その少年の姉を助けた場面です。もし自分が兵隊だったら、帰れることが嬉しくて、御幸橋付近まで運んであげても、応急処置はできないが、義三さんは同情し、苦痛に耐える少年の姉を、傷口の中のウジ虫までピンセットもないなかで取り除いてあげて、御幸橋までおぶって歩いたのは、本当に尊敬します。

戦争なく平和な現代に生きる僕達に戦争の悲惨さを教えてくれた原爆先生、本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019. 10/17

私は、原爆先生の特別授業を受講して、

大きな衝撃を受けました。なぜなら、「はたしのゲン」などの本を数多く読んだり、戦後生まれの祖父から話を少し聞いた事があったもののあまりそういった原爆の話にくわしく聞いたことがなかったからだと思います。

初めて、聞き知ったことがたくさんありました。

例えば、「原子爆弾投下都市の条件」「候補になった都市」がいくつかあげられていたこと、などのことは勉強になりました。そして何より、被爆された方々のリアルな話。

「人間の姿ではなかった」と聞いたしゅん間、原爆がもたらした悲劇を感じました。

また、先生のお父様の義三さんの話して下さったビデオを見て、「戦争をもう二度くり返してはいけません」と感じました。

また、私は広島に行ったことがありません。

行く機会があれば、原爆ドームや原爆資料館に

行きたいと思います。

貴重なお話ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/17

原爆先生の授業を受ける前までは、原爆が原爆が落とされた時の様子について、あまりくわしく知らなかつたため、原爆を軽くみている、あまり深く考えたりしませんでした。しかし、今日原爆先生が、原爆が落とされた時とその後の広島の様子を生々しく、くわしく話してくれた事で、原爆のおそろしさを知ることができました。特に、原爆資料館にある、皮膚がたたれて、顔にやけどをおっている年の人の人形を見て、義三さんがきれいすぎる、と言ったというのが、私はあの人形でもおそろしいと思うのに、それがきれいすぎるとなると、実際はどれほどなのか...と考えるだけでぞろぞろとします。さらに、一発の原子爆弾でものか炭になってしまうような熱線と、音よりも速い衝撃波と放射線がでて、広島市の40%にあたる14万人も死んでしまうということを知って、とてもくわくなりました。

この授業を受けて、今日本が平和なことのおよさを思い知りました。今日は貴重な授業としていただき、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

2019

10/17

私は広島県に、旅行に行つたことがあります。原爆ドームを見て、折り返るタフに行き、最後に原爆資料館へ行きました。資料館のおくへ進むと、女性の像が立っていて両手をなぐめ上に上げています。手のひらは、布拭いたにたれ下がりとてもこわい思いをしたことを覚えています。原爆先生の特別授業を受講し、学んだことがたくさんできました。その中でも、心に残ったことは「原爆は、文字では表せない」ことです。池田義三さんの、ビデオメッセージ。そのメッセージの中で、おどろいた言葉があります。資料館の女性の像に、「きれいすぎる。」と話されたのです。こわかった女性の像がきれい……。太陽より高い温度が広島に落ちる。鉄がとける温度→1500℃に對し、投下された時の温度→3000℃。水はゆき出ち、川の水はほとんどなく、死亡率は40%。広島市人口35万人に對し、被爆者数は24万人。ありえないことがおきた8月15日を、小さな語りべとして少しでも多くの人に伝えたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019年10月17

原爆先生にこのような機会をいただけてありがとうございました。  
私はニュースなどで原爆の事を語っている人が減ってきている事は知りましたが、原爆の場所、その後の事についてはまったく知らなかつたです。私が感じたのは、池田義三さんが戦後、真徳さんと原爆資料館に行った時に、原爆した被爆者の方の当時の姿を置いたてじ室を見た時、義三さんが「きれいだった」と言った事です。スクリーンに写った画像を見ても私は「あれだけひどいのに」と思いましたが、その当時遺体などを見た義三さんは、また「あれ以上ひどい状態だった」と言っているように私に聞かれましたが、あれ以上の状態は想どうはるかに絶する物だと思えます。原爆が落ちて一秒で命をおとした方が2万人以上たると聞くと、現在生きている私も取リかに疑問をいただきました。

今日、先生の話を聞いて私の考え以上に原爆の恐ろしさばかり、原爆の事、被爆者の事が知れてよかったです。

これから原爆の恐ろしさや次の世代にも伝えていってほしい。  
左知らない





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2019年

10/17 木

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話聞いて、私は、戦争はいいない。戦争は絶対にダメだ、と感じていましたが、それ以上に被爆者の人のすかたにとてもしょうげきを受けました。

たすけたらいいけどそれがかえって害になってしまう。とても信じたくないような話に、思わず聞く目をそむけてしまいそうになりました。

原爆先生のしゃべり方には、とてもりんじょう感があり、原爆が落とされた時の効果音や、エラ、ゲイという名前の爆弾が、

アメリカの隊長の母親の名前だったという話をするときの少し悲しいな、しょうげきをうけるような話し方、まるで私が

戦争へ行っているような気持ちになり、とてもこわく、広島にいた人たちもこんなこわい気持ち(そわい)だったんだな、と、本当になんともいえない気持ちでいっぱいになりました。

太陽が、太陽より1000度も高い、7000度の球体が真上に来て、みんないっしょんで消えてしまい、そのトモかたどったあとの写真を見たとき、すごくぞっとしました。

そんなにあさりと消えるものなのか?と、ふしぎでもありました。

私は、もうこのようなこと一生おこってはいかないと思います。

そのために私も私は、私ができることをさがして、

今後絶対に戦争がおきないようにしていきたいと強く思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

名前は裏面に記入してください

2019 8 / 17

今まで、自分は原爆についてただ「怖い物」としか思っており、原爆については何も知りませんでした。ですが、今日の授業を通じて原爆のおそろしさを再認識できました。私が特々心をしめつけられたのは、原子爆弾の威力についての話の時です。原爆は爆発したときに地表は300°Cにもなり、あらゆるものは全て気体になって内臓も炭化すると聞いたとき、私はそんなものに直撃して死んでしま、た人のいたさや苦しさが伝わってきてとてもつらくなりました。また、防火用水の桶中で人が体育ざかりで七くなっていた、という話で、自分がもし桶の中にならまっていたとしたら、と想像するとおそろしくな、て、平和な時代に生まれてきた自分は幸せ者だな、と改めて実感しました。

今でも、世界の中では単独争をしている国がたくさんあります。でも、その単独争のときに、原爆などの兵器を使わないようにしてほしいと思います。なぜなら、広島のようにたつらい思いをする人が出てほしくないから。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019 10/17

今まで私は原爆のおそろしさをよく知りませんでした。今日の特別授業でそのおそろしさをくわしく知ることができたと思います。原子爆弾は人の命をいっしょにうばってしまうこともです。私は今まで原子爆弾は爆発するだけで、大きな被害をもたらすものではないと思っていたので、原爆先生の「ヒカ」という音にとってもおそろいしてしまいました。しかし、原爆先生のお父さんは、もっと大きな音と、すごい光をあびたのだと想像すると、体がゾワッとしてきました。そして最後のビデオを見て、原爆先生のお父さんがどれだけおそろしい気持ちになったのかがとても伝わってきました。私はもしかしたら、原爆にあわないと思いますが、原爆先生にはこれからも原爆のおそろしさを伝えていてもらいたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

10/17

原爆先生の話を聞いて、私は戦争についてはあまり知らなかったが、原爆先生の臣宮場感ある音や説明、写真などで戦争のこわさ、戦争があたえるきょうふなどがよく分かりました。また原子爆弾のいかなどを原子爆弾についてもくわしく説明してもらい原子爆弾は絶文才にっかってはいけな原子爆弾は人へのえいきょうがかなり大きいことや原子爆弾は、後いしょうなどがのこりそう原子爆弾は、いらな思いました。

原爆ドームを元は、あんなすかたじゃなかつたのに本当に一部しかのこっていなので戦争で失なうものは人々だけじゃなくて物、建物まで失なってしまうので戦争で失うものはかなり大きいものだ思いました。まこのようなことを後世に語りつがなければいけなと感じました。

原爆先生も、もっと多くの人に戦争の強さこわさを伝えられるようにがんばってください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019 10/17

原爆先生の話聞いて、『前の原爆みたいにならず、平和でいる』ことが大切だと改めて思いました。原爆のことは国語の授業で勉強をしたので、少しぐらいなら知っていました。でも、今日の特別授業を受けても、とくわしく知ることができました。例えば「死者・被爆者の数」「火傷のひどさ」などです。分かりやすく教えてくださったので内容も頭の中に入ってきました。じょうけいを想像してみたら、いかにも残こくで被爆者の気持ちになんとか分かった気がしました。原爆が投下された後に生き残った人も死んでしまった人が多いので、この授業で平和を大切にしたい方がいいと思いました。



名前を裏面に記入してください

 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日、原爆先生のお話を聞いて、原爆は、私が想像していたものよりも、もっともつと、すごくひどいことであつたと思ひました。

先生のお父様の体験は、話で、死体をおぶつて持つて行つたと聞いて、本当はどのほどつらいのか、私は体験したことがないので、あまりわからなかつたが、とてもくさくて、気味が悪くて、とても大変だつたと思ひました。

また、原子爆弾の大きさもよくわかりました。先生が言つていたのは、「太陽が上から落ちてくるようなこと」でした。とてもとても、信じられないほどあつたと思ひました。

先生のお父様が、原爆があつてから、60年後に広島へ行き、原爆資料館へ行かれ、そこで、被爆したひどい姿になつてしまつた人の人形を見て、「きつすぎる。」と言つた。ときいた時は、実際はもっとひどい姿だつたと思ひ、泣いてしまひました。そのほど、いじに残つて話して。

また、先生が、「人ではなく、人のような姿になつてしまつた。」と言つた時は、想像もできなかつた。しかし、その後、お父様のビデオを見て、考えられないほどひどい姿だつたと思ひました。

今の私達は、原爆のひどさを知ることができないと思ひましたが、先生や、先生のお父様のお話をきいて、「し、わかつた気がしまつた。

今日のお話をきいて、平和の大切さも忘れなうに思ひます。

大切なお話をしてくださつて、ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019 / 10 / 17

きっと、原爆に関して、くわしく教えてくださるのかなと思っていましたが、広島<sup>の</sup>原爆があったその日だけではなく、原爆がおこる前から原爆がおきて15日目までもとていねいにわかりやすく教えてくださいました。また、最後に見た、原爆先生のお父様のビデオを見てから改めて、戦争というのは、本当におそろしいことなんだなと思いました。

私は、戦争はしてはいけないとは思っていましたが、広島<sup>の</sup>投下で使われた原爆の名前や、原爆を投下した爆撃機も紹介してくださって、原爆はきけんだという思いがったわってきました。

このお話しをわかれずにいたいなと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2019/10/17

今まで、原爆の話になると、8/6AM8:15に広島に投下され、毎年式を行っているのしかでできせん。しかし、この話を聞くことにより、具体的に、そして投下されたあとのことも分かります。

今日のテーマは「7000℃の少年」。この話の主人公 池田義三は当時17才で軍隊に入りました。今は軍隊ではなく自衛隊ですが、高校3年生で軍隊はありえないと思います。今は日韓関係、北朝鮮のミサイル問題などがありますが、この頃と比べれば、なんともないとも言えます。

池田さんは、トラックを待っているときに原子爆弾が投下されたのですが、生き残ったそうです。被爆者の7割がその年までに死亡したのですから、これはすごいと思います。その後、被爆者の現実をまのあたりにし、9日もの間、働きつづけたそうです。

7000℃の少年、これは、爆弾の温度で、太陽よりも高いです。太陽が上空600mにくると、こんなことになると想像できません。

私は、この話を聞いて、戦争はよくておそろしいだけではないことがわかりました。人は、いっぱいになりましたが、かろうじて生き残った人、様々な出会いを通して、この話が後世に伝えられることが必要です。本人だけでなく、周りの人がこの活動を理解し、このことが世界中に広まってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2019.10/17

原子爆弾がどれだけの人、建物を一瞬に消し去り、  
広島、長崎の街をどれだけひさんにしたかがわかる。  
現地でどんなことがあったかはわからないけれど、写真やお話か  
ら伝わってくるものがあった。そして焼けたあつた人々の姿は想像  
できない、想像しきれないくらい、ぞんごくでひさんで目をそむけたく  
なるような物だった。だろーと思つて手がふるえてしまった。けれど、  
少年と17歳くらいの女性が助かて本当に良かったと思つて生きた人の  
傷口にもうじ虫がわいてしまつて開いてゴツとした。それで涙が  
かずにこぼれていた女性に感動もした。  
義三さんが原爆投下直後に広島に行つてきてから60年後、  
広島をおとずれて、資料館に行つたときの一言は鳥はたが立った。  
義三さんが当時の広島で見たもの。とても思い出したくない  
ものだったのだと思つて、おどろいたし、悲しい気持ちになつた。  
この授業は頭にしっかりとどめ、これからに役に立てたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

お父さんの池田義三さんが体験していることがよく伝わり、まして、原子爆弾によって広島の人口の内の5人に2人にあたる14万人が亡くなり、その中の12万人は苦しみに対してなす術もなくもがきながら亡くなってしまったのだと思ひ、それを自分におかえりみることも恐ろしくなり、まして、全身「水たまり」を負って「皮膚が」ぼろぼろになつてしまつた人々が「空襲時」のための水が用意されてゐる所にこびこんで、待たせられてゐたり、幸ひ風がとつから逃れる為「元安川」に飛び込み、死んでゐる様子を自分の目で見てその死体をおらして運んだ。同じ人間の中でも日本人をカソソで火葬せなければならぬ苦しみも感じられました。また、最後にあつた義三さんのメッセージからは原爆資料食宮に残つてゐる記録よりもはるかに悲劇的で過酷であつたことがわかりました。僕はこのメッセージを聞いて自分は体験していることがわからぬやんとは分かつたけれど、自分ができる限り原爆の悲惨さや平和を志すことの大切さなども簡単にはないと思ひますから、後生に伝えていこうと思ひました。また、機会があれば原爆資料食宮に足を運ぶと共に、先生のお話をうかがふと思ひてゐます。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

こんなにも非絶なものだとは思ってなかった。

最後の義三さんのビデオで改めて戦争を二度と起こしては  
いけないという事を感じとれた。

太陽よりも熱い物体で人が一瞬で骨になる。

もし、私がこの時生きていたら、恐怖でしかたがなかった  
だろう。なのに、義三さん達は死体の一体一体を担いで運び、  
重油をかけて焼却する。本当に驚いたし、怖かった。

私は、改めて戦争の怖さを実感することができた。

何もなく晴天だった広島に、一つの原因が落とされて  
人々の命が次々とうばわれていた。そして今も、原爆病と  
闘っている方達がいる。本当に、無惨な話だ。

最後に、本日はお忙しい中、わざわざ来てくださり、  
ありがとうございます。

先生のおかげで、改めて戦争の怖さをリアルにわかる  
ことができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2019. 10/17

私は原爆先生の特別授業を受講して「原子爆弾は絶対に投下してはいけない」ということを強く心に刻みました。最初はよく理解できていなかった。授業のタイトル「7000℃の少年」は、「球体の外温が7000℃で、その爆弾のコードネームが「リトルボーイ＝少年」ということが授業の最後にはわかるようになりしました。

私は特に池田義三さんの日記に記されていた被爆した人に救いの手をさしのべるとズルリとひきがわけてたおられてしまう、というお話が印象に残りました。また、爆心地から150mしかはなっていないのに、コンクリートでできた電話局の地下のトイレにいた人が生き残った、という事にも驚きました。1秒前まで生きていた人の命をうばったのが原子爆弾エラ・ゲイ(リトルボーイ)。これから先、二度とこのような事態になることのないように、後世にうたえかけ続けるべきだと思いました。広島・長崎で被爆された方の思いを受けついで、平和な日本の未来を築いていくといいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

2019 10/17

最初に、「7000℃の少年」というタイトルにおどろいた。なぜ、7000℃なのだろう？しかし、私のこのなぞは後に解明されることになる。この授業は、池田義三さんが広島で体験したことが書かれた日記をもとに話が進んでいく。ある特定の人物が実際に歩いたり、見たりしたことなので、自分もそこにいるように想像ができた。と中、生々しい描写があり、思わず耳をふさぎたくなったが、その状態を知ることが重要だと思って聞いた。エノラ・ゲイという戦闘機の名前は実は、チベット大佐の母親の名前だったことに強いショックを受けた。また、証言の人の形に黒いしみができ、人が消えてしまったことにゾッとした。また、私の心に一番残っているのは最後に観た義三さん本人が語るビデオだ。涙ながらの「そんな生々しいものではない。」という言葉が突きさった。そんな義三さんの思いを私達が受けつぎ、未来に伝えていかなければならないと強く思った。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日は、おいそかい中本校で貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。先生のお話を聞いて、原爆の本当のおそろしさを改めて知りました。とくに印象に残ったのは広島に原爆が投下された時の音(す。「ゴーゴウー」ドカーン。)という生々しい音がとても印象に残りました。そして、今までは原爆について、深く考えたり、学んだりした事はありませんでしたが、写真や言葉を用いてとてもリアルな原爆の姿を学びました。最後のお父さまのビデオで、泣きそうになりました。なぜなら、自分がもし先生のお父さまだったらと想像しながら聞く、本当に言葉には表せないほど悲しくなりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019 10/17

ぼくは原爆先生の話を聞いて原爆は思っていた以上に恐ろしいことがわかりました。いっしょんにしてあたりいちめんが爆発によってがれきなどがちらばってたくさんの方が被害者や死亡者が出てしまった原爆は非常に恐ろしく悲しいことです。原爆太陽よりも熱く衝撃波の速さは音よりも速いので衝撃のあとから音がきこえまた火暴心直下では人間はいなく人間だったあとの黒いかけのしみしかのこらないです。原爆はこれから先おこしてはいけません。そのためには戦争をおこさないようにすることが大切です。人々が平和を願う以上原爆の被害を出さないように人間がちゃんと平和をまもっていくことが大切です。ぼくは思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019 10/19 (木)

原爆先生のお父様は、17才だった高校2年生の時に軍に入り、広島の中品西二丁目で船からおり、ドラム缶が二だんにつまえたところによりかかしてトラックをまわしていた。

その時、熱風が広島をおそった。ドラム缶のうしろにいたから軽傷ですんだ。たしかドラム缶からは、数十メートルは離れたという事でこんなにかがつよい、ということをした。太陽の表面温度は6000℃、原爆が爆発したのは、地上から600m、その地点では、むらさきがかった、赤い玉ができた。その表面温度は7000℃、太陽より1000℃も高い。私は、この二つのことが心にのこっています。なせなら、原爆の力がつよいという事もものごとくわかるからです。

最後に、原爆先生の言葉を聞、あらためて原爆はこの世にいらないと、思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019 10/17

私は読書感想文で戦争についての本を読んで作文を書きました。しかし、原子爆弾投下の条件や候補になった都市、なぜその都市になたか、などのくわしいことは本には書かれていなかったのでも勉強になりました。

私も原爆ホームや資料館などに去年の冬に行ってみました。資料館にかざられているものを見て、戦争や原子爆弾は一人一人のとうとい命をうばっていきってしまうおそろいものなのだ、と思いました。みているだけで胸がいたみました。でも、当時いた人々は私よりもさらなる胸のいたみを感じたことでしょう。

その胸のいたみは当時いた人にしかわからないかもしれません。こんな戦争をしないために、兄弟、父母そして友だちなど後世にかたきついでいくなど、私たちにもできることはたくさんあると思います。できることを一つ一つみつけていって二度と戦争をしない、核兵器をつかめないうちの中になてくれるとよいな、と思いました。原爆先生、本当はどうもありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

国語の授業で『平和のとりでを築く』という原爆ドームの文章を  
読んで「原爆ってつらからんだらうなあ。この時代に生まれてよら  
た。ぐらいいか考えていなかたし、どのぐらいつらかつたのかわからな  
かつたので、原爆先生のお話を聞いてどれぐらいつらかつたことなのか  
がわかりました。

よく、放射線やエイラガイという言葉も聞いたことがあつて、どんなもの  
なのかはあと思つていました。でも、今日一つ具体的に知れてよかつたです。

原爆先生のお父様の池田義三さんのお話を聞いていて、とりはだかたち  
ました。何日前までは、元気に生きていた同じ人間なのに、ひびが響くほど  
落ち黒こげになり、かたど顔がまかになり、まるで人間とは思ふまいよな  
なにかになるなつて、考えただけで恐怖…。なのにそれを体験しているたから  
どれほどつらいとたつたのかわかりました。

今までは「原爆なんつて昔の話でしょ？」また日本に原爆が落ちることはないんたつ  
大丈夫だよ。なんつて昔の話、まるでなにか物語のおうに思つていました。でも、原爆は  
いつも身近なものなんだと思つてました。

戦争は人の心の中でできるものだから、一人一人平和のとりでを築いて、  
二度とあつたことかおきないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回お忙しい中お話をしに来てくださり、ありがとうございます。

自分がこれまで想像していたよりも原爆の威力や被爆者の悲惨さが想像を絶する物だったため、大変驚きました。

また、原爆の中心の部分が大陽のコロナとほぼ同じ100万度であることにショックをうけました。

さらに、元安川の遺体の処理を命じられた義三さんが死臭のする体液かきたり落ちてくる死体を処理場まで運んでいた場面は、まじい。また、被爆した人に対しては失礼だけれど気持ち悪いと思った。

なかなか聞けない貴重なお話をありがとうございました。これを機に平和の大切さについてもっとたくさん学びとりたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

戦争ということは、知っていましたが、その中からの原爆  
ということは、あまりよく知らなかった。実際に体験したお父  
様もお方がお話ししてくれたので、よくわしく知るこゝが  
できた。いつもは見るこゝができないような写真  
や、音声、映像などに、少しこゝわいと恐怖心もあつた。  
でも、びっくりしたこゝは、侯補になつた都市が京都でお  
とろいた。京都でも私は、いいと思つたが、アメリカ  
のほうも、すく頭が、いいんたなと思ふ。お父様が  
命令で、死体を運びたすなどの作業は、絶対に  
やりたくないなと思つたし、そのやうな悲さんな情景  
が目についた。池田義三氏の日記を元に作つた  
本を、読んでみたいと、最初の方と思つたが、話を聞い  
て、いつかには、おつちよといやたなと思ふやうになつた。放射線  
などなる原爆しょうのこゝは、知つてはいたが、こゝのほと  
ひといのかは、今でもあまりよくはわからない。だが、  
広島ドームのあの変わりやうも見て、原爆のいかは、自分なり  
にわかつた気がする。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回のお話で、とても心が痛くなりました。

私は今まで、「ばくだんは物などがぶさ飛ぶだけ、  
だけ」と思っていたから、こんなに空気が熱く

とてもたえないようなウラさがあることを改めて知る

ことができました。また、原爆についてよく知らな

かったけれど、池田真徳さんのお父さまの日記をもとに

語られていて、予想が付きやすかったですし、私が想

像していたことを知るものもありました。お父さまの

陸軍に入った頃、死体をはきぶつらさも、改めて実感し

ました。私だったら、ほとんど人まかせにしてしまう

と思います。その勇気ある行動に、大変尊敬していま

す。また、改めてばくだんの怖さ、おそろしさを知った

上で、広島にある原爆ドームを見に行き、

原爆資料館で、もっと詳しいことを学び、私の心に

平和を築いていけたらいいなと思います。

2019.10.17



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

また「17さいなのに戦争しているところに行つたというのほ  
とこもビックリした。

今日、原爆先生の話を聞く前に国語の授業で「平和の  
ついでに築く」という文をやったけれど、その時は  
どんなことがあったのかよく知らなかった。でも、今日話を  
聞いたことで「広島で」どんなことがあって、原爆、  
戦争が「おきることで」どんな苦しみをあじわうのか  
がよくわかった。

そして、なぜ「原爆が広島におとされることになった  
のか」も聞けて良かった。

そして、人が「一しゅん」で「消えて」ほめて、黒い「かけ」の  
しみた「かけ」が残ったという話も不思議だ「と思ったし、  
熱線やしょうけい波が」と「水た」けの「いかた」ったの「か」  
が「わ」かった。

原爆雲というものをはじめに聞いたので「分」か「ら」な「か」  
た「け」い「と」な「せ」原爆雲が「て」き「る」の「か」か「い」わ「か」つ「た」。  
また、私は広島に行つたことが「な」か「ら」な「か」つ「た」が、今回  
の話を聞いて、広島に行つて原爆資料館をおとすけれど  
実際よりも大きな差はあるかもしれないけれど、「原爆が」おと「さ」れ「て」

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

ころな、た「ん」た「い」ということを「こ」も「こ」で「深」く「し」りたい「と」思「つ」た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019年10/17

今日で、原爆くこのことを知るとともに平和な今に感謝しようと思ひました。

最初、いまいち原爆くイメージがつかみませんでした。ですが、今回で原爆くイメージがつかうようになりました。ふつうの場合、21才になると男子は必ず軍隊に入りなければならぬ。それだけでも、21才になるのがこわいといふうは思ひます。ですが義三さんは21才になる前、17才で軍隊に入る事になりましたか。いやいやでも、軍隊になった義三さんはすごいと思ひました。

今回で、原爆くたん投下の条件で、3つの条件があると知りました。その時(たったの3つだけの条件で、広島が覆はれたのか)と思ひました。次に原爆くの衝撃波の速さはなんと音速よりも速い毎秒440m。音よりも速いことにおどろきました。(音<sup>速</sup>340m)。本当は死にたくない14万人もの人々たちが原爆くで亡くなってしまったのを知って私は、おどろいたことで死にたいな〜。とか思ひてしまつた時がありましたが、原爆くをして、今、生かされるのに感謝をしないとダメなんだな。と思ひました。これからは、平和な今に感謝したいと思ひました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/17

僕は原爆先生の特別授業を受けての感想は、  
その時、その場所では何が起きたのかも知らない広島市民、長崎  
市民の心情が、何もなく、その一瞬にして、自分の命がうばわれて  
しまう人もいれば、体中の皮ふが黒こげになってしまい、歩くだけ  
で痛く、兵士さんたちがさわればくずれ落ちてしまうその時の  
じょうきょうに、僕は心を痛めました。僕がその時の場において上  
のように、体中が黒こげになってしまっていたじょうきょうを考えるだ  
けで、体がふるえてしまいます。また僕が兵士側にいて、市民  
達から「たすけて」「たすけて」と言われても、たぶん僕は小さくな  
ってしまい、その市民をたすけることは不可能に近かったと思いま  
す。僕は、今の時代に生きていくだけに、このようなことにあ  
わなくてすんだだけで、この時の時代にいた、僕も戦争に  
さんせいをしていたのでしょうか。僕は人間いや、生き物がこのよ  
うなことをするのは、考えられません。もし、今のように、戦争に  
さんせいな人がいるならば、今日、原爆先生にお知ってもら  
たことをその人に、話してあげたいです。先生、今日はあり  
がとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2019年 10/17

原爆は人を簡単に殺せる事が分かった。  
太陽が落ちてきたらと思うとこわくなった。  
原爆先生のお話を聞いて戦争や大型兵器は不必要だと感じた。多分私の住んでる町に原爆が落ちてきたら「何だろう？」と思う前に死んでいると思う音よりも速ければ気付かないと思います。5人に2人が死ぬのならば、私か家族が死ぬでいたと思うとぞとします。義三さんの手紙に書いてあった『現実と記録に余りにも大きな差があったから』と思います。という文章に自分自身でも何か分らない何かを感じた。  
原爆先生、ありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/17

ほくは、戦争をしない、平和でなければならぬなど"のことを少しも考えていたと、原火暴先生の授業でわかった。

原子火暴弾というアメリカの武器が広島にたった一発おちた"けで"死者が14万人もでてしまい、死亡率は40%にまじってしまった。

とても暑い夏の中で原火暴によって亡くなった死体を"さす"ととてもほくには"できないこと"があった。きっと軍隊の人たちもやりたくはなかった"と思うが"命令だから"必ず"何か"何でも"やりこなす"気持ち"というのを学び、もう"戦争"というの"は"や"い"けない"こと"などの意味が"深く"感じ"られる"ようになりました。

本当に"お"り"か"とう"ご"さ"い"ました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

にります。

原爆先生の特別授業を受講し、始め、具体的に、広島の人々が体験した  
 原爆投下当日の情景を細かく描くことができました。地獄です。この一言  
 原爆先生が広島に投下された原子爆弾や、どうして広島なのか  
 また、どのような破滅的なダメージをもたらしたか能くともわかりやすく説明  
 して下さいました。同時に「そんなものを何で落とされた??」という  
 気持ちも、正直わかってきました。手紙でお父様の義三さんが  
 隊員全員亡くなった女子が生き、命が続いていることを知って涙が出て  
 きました。本当に良かった。でも、「命が続いている」ことは、とても嬉しいこと  
 で、幸せな気持ちになりましたが、義三さんのVTRを見て、まだ戦争は終わっ  
 ていない。まだ50年以上たっても、心の傷はいえることはなく、まだ残っ  
 ていると感じました。最後に義三さんが広島を訪れた後、慰霊碑の  
 中の名簿に「自身も名前が刻まれ、広島に永遠に葬られるであろう  
 と涙止まらなくなって、あつあつと苦しんで、やっと心が安らぐ  
 場所を見つけられたのかなと思いました。その安らぐ場所が「自身の  
 ふりかえりではなく、「広島」ということは戦争が終わって何十年も時がたつたけれ  
 ど、体験者の心には、あつあつと戦争が続いていて、命が終わるまで続くもの  
 なのだ」とわかりました。あのVTRの義三さんの涙、今思い出しても涙が出ます。